

## 廃棄漁網の再資源化 —ALLIANCE FOR THE BLUEでの取り組み ～SDGsの目標達成に向けて～

住江織物(株)は、2020年からALLIANCE FOR THE BLUE(アライアンス・フォー・ザ・ブルー)<sup>\*</sup>に参画し、海洋プラスチックごみ削減を目指した活動に取り組んでいます。

環境省の調査によると、漁網は年間約6000トン廃棄され、漁網やロープなど漁業に関するごみが日本で発生する海洋プラスチックごみの約3割を占めるとされています。世界経済フォーラムの報告書では、2050年には海洋プラスチックごみ量は重量ベースで魚の量(7億5千万トン)を超過すると推定されており、世界でも海洋プラスチックごみに注目が集まっています。

今回ALLIANCE FOR THE BLUEの取り組みとして、廃棄漁網由来の再生ナイロンを使った鞆の制作に参画し、制作工程のなかで、北海道で廃棄された漁網の再生ペレットを使用したナイロンの紡糸と生地製造を担当しました。当社は約30年前に使用済みペットボトルから再生ポリエステル糸「スミロン<sup>®</sup>」糸を製品化しており、その取り組みのなかで培ってきたリサイクル技術を活かしています。今後、当社グループ製品での活用や、他企業との協業による商品化を目指します。

これからも積極的にパートナーと協働で廃棄物のアップサイクルに取り組み、様々な方向からサステナブルな社会の実現へ向けて貢献するとともに、SDGsの目標達成を目指していきます。

<sup>\*</sup> ALLIANCE FOR THE BLUE(アライアンス・フォー・ザ・ブルー)は、「企業と生活者の共創による、海の豊かさを守る商品づくりと持続可能な仕組みづくりを実践することにより、めぐみ豊かな海を次世代に引き継ぐ」ことを目的に活動する一般社団法人です。プラスチックの原料となる石油化学業をはじめ、日用品や包装材メーカー、小売、リサイクルなど多業種の企業が加入しています。

### ● 廃棄漁網由来の鞆ができるまで



### 編集後記

「CSRレポート2021」をお読みいただき、ありがとうございます。

当社グループのCSR活動における考え方や取り組み実績について整理し、わかりやすく表現しました。国際的な社会的課題の要求が高まるなか、信頼される企業を目指し、これからも一層CSR活動の着実な実践を行います。つきましては、今後の参考とさせていただくため、当社グループのCSR活動について忌憚ないご意見をアンケートにてお寄せいただけますと幸いです。

CSRレポート作成メンバー一同